

中国人実習生から頂いたお土産の切り絵細工。良く見ると「福」と言う文字が切り抜かれています。



5月に入り、五月晴れの日が続き、ようやく過ごしやすい季節になりました。実習生の皆さんの晴れ晴れとした笑顔が研修センターにも溢れています。日本語講師陣からは、既に「あつーい」との言葉も聞こえ始めています。しかし、東南アジアからの実習生の中には、私たちが「あつい」と感じる日でも、まだ厚手の上着やジャンパーを着ている姿を見掛けることがあります。思わず「あつくないの!？」と声を掛けると、「はい、だいじょうぶです」と平然としています。実習生の皆さんが、慣れない日本での生活に日々悪戦苦闘していることを実感させられる瞬間です。

## あじけんスコープ Vol.32 ～あじけん講師ファイル～

今回のあじけんスコープも、昨年から新たに当校の日本語講師に加わった新メンバーを皆様に紹介させて頂きたいと思います。

皆さん、はじめまして。大久保澄子(おおくぼすみこ)と申します。昨年からきぼう国際外語学院で、日本語を教え始めて、アツと言う間に半年が過ぎました。実習生の皆さんとの日本語の授業を通して、私は、同じ志を持つ「同志」だと感じています。実習生の皆さんは、家族と離れ、遠い異国での不自由な暮らしにもめげず、自分の夢に向かってのチャレンジを始めました。その為に日本語を学び、日本を知ろうと頑張っています。学習への意気込み・日本での生活への大きな期待などが、皆さんの瞳の輝きに溢れています。

実は、私も日本語講師になるための420時間講習を終え、外国人への日本語教育という未知の世界に船出したばかりのチャレンジャーです。日本語教師の仕事にバラ色の夢と希望を持って取り組んでいる一年生です。早く一人前の日本語教師になろうと日夜頑張っているところです。「自分の夢」に向かって励んでいる実習生の皆さんと、同じだと思っています。ですから、「同志」として、そんな実習生の皆さんを応援せずにはいられません。日本語レベルも様々で、国籍も異なる学習者が集まるクラスの運営は、一筋縄ではいかないところもありますが、「みんなが分かって、楽しく学べるクラス運営」をモットーに、学習を進めております。どうぞよろしくお願ひします。



## 今月の実習生

今月の実習生は、本校で毎朝行なっているラジオ体操がとても上手で、ラジオ体操リーダーとして、活躍しているフィリピンからの実習生アレックスさんを紹介します。

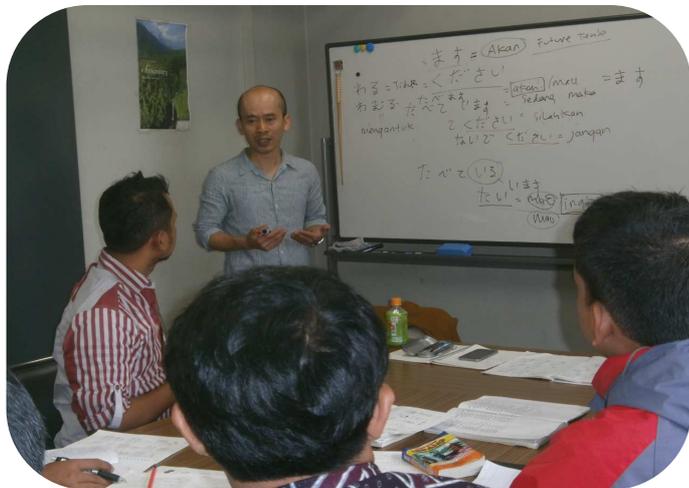
アレックスさんは、来日当初からラジオ体操第一の動きをほぼ完璧に覚えており、動作も機敏でスムーズ。そこで、クラスメイトのお手本として、毎朝前に出て体操をしてもらっています。素晴らしいお手本のお陰で?アレックスさんのクラスメイトは、みんなラジオ体操が上手だと評判です。

わたしは、フィリピンのけんしゅうセンターで、ラジオたいそうをべんきょうして、まいにちれんしゅうしました。ラジオたいそうは、からだげんきになりますから、だいすきです。



IBARRETA ALEX BOLIMA (アレックス)

## あじけん流日本語授業



インドネシア語・マレー語での授業を担当するAEP (アエプ) 先生に積極的に質問する実習生。



和やかな雰囲気の中進められる授業。日本の文化や習慣について話が盛り上がることも。

今月のあじけん流日本語授業は、現在本校で新たな取り組みとして行なっている「実習生の母語を用いての日本語指導」についてご紹介いたします。

これまで本校では、実習生の皆さんに、できるだけ多くの日本語を聞いてもらい、日本語の音や日本人独特の語彙・表現に慣れてもらいたい、話す前に一度母語で文章を考え、それを頭の中で日本語に翻訳してから発話するのではなく、ダイレクトに日本語で考えて、発話する習慣を身に付けもらいたいとの考えから、直説法（学習者の母語に頼らず、日本語のみで日本語を教える指導法）を採用してきました。この指導法は、来日前に平均3ヶ月間の母語による日本語指導を受け、日本語の基礎がある程度身に付いている学習者の会話力の伸ばすには、理想的な指導法と言えます。しかし、事前学習が不十分な実習生に対して、カリキュラムの全てを直接法で行なうのは、学習者に対する負担が大きく、効率面でも問題があるとの判断から、原則として日本語講習期間の前半・中盤・後半の3回程度、実習生の母語での日本語授業を取り入れています。現在まで、インドネシア語・中国語・タガログ語による指導が行なわれました。授業はいずれも日本在住10年以上で、長い日本語学習歴のある各国出身の講師が担当し、同じ母語話者だからこそ分かる日本語学習の難しいところや、自らが学習者として日本語を学んできた経験を生かした学習のポイント等を中心に授業が行なわれます。「文法が分かりやすく教えてもらった」「沢山質問が出来てよかった」等実習生の皆さんからも評判です。また、カリキュラムの大半を日本語で指導する日本人講師陣からも、「講習の初めに語順や動詞の活用等日本語の基礎文法を教えてもらえるので、以後の授業が進め易い」、「日本人独特のコミュニケーションを外国人日本語話者の視点から、指導してもらえるので、会話の上達が早い」と好評です。

あじけんでは、実習生の実情に即した効果的な日本語学習の実践を目指し、これからも指導法の改善に取り組んでいきたいと思っております。

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます